

官民による若手研究者発掘支援事業
(社会実装目的型の医療機器創出支援プロジェクト)
令和6年度終了課題 事後評価結果

1. 研究開発課題名：表在性転移リンパ節に対するコンパクト磁気加熱プローブを用いた磁気加熱がん治療法の創製
2. 研究開発代表者氏名（所属）：桑波田 晃弘（東北大学）

【評価（公開）】

磁気ナノ粒子と交流磁場を用いた磁気加熱癌治療機器の開発を目指す基礎研究開発を実施し、動物実験にて生体組織加熱や加熱温度モニタが可能であることを確認して、要素技術開発を開始する目処をつけたと評価する。開発支援機関からの支援を受けて、医療機器開発シーズの社会実装に向けて、開発品のコンセプト、薬事・保険戦略や資金調達について多くを学び出口戦略を検討する機会を得、今後の研究開発の進め方を定めたことも評価する。また、積極的なアウトリーチ活動を行ったことも評価する。

以上